

廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について

本文改訂内容について

(1) 基本目標 2－(1)－① P16

追加項目
● 市内各地域の住民や市外から訪れる人々の交流を促進し、地域の賑わいを創出するため、地域の拠点となる施設等の整備や受入体制を整えます。

【追加理由】

- 財源確保に向けて、地方創生関連交付金を活用し、地域の拠点となる佐伯総合スポーツ公園やスポーツセンターサンチェリー、大野支所複合施設など、各地域の賑わいづくりや交流の拠点となる施設の整備や、A S T Cアジアトライアスロン選手権などのイベントを開催する。

(2) 基本目標 2－(1)－③ P17

追加項目		
③ 多様な市民がつながり、自分らしく暮らせる交流・共生の地域づくりを促進する (主な取組) ● 本市に在住する外国人の生活を支援するとともに、地域住民に対しても異文化理解のための講座や交流の場を設定するなど、日本人と外国人が共生し、ともに安心して暮らせる環境を整備する。		
K P I (重要業績評価指標)	現状値 H29	目標値 H31
国際交流協会ボランティア登録者数	132 人	170 人
国際交流・多文化共生に関する講座の回数	22 回	50 回

【追加理由】

- 国の総合戦略の平成30年度改訂において新たに策定された、地方への移住を加速させるための「わくわく地方生活実現パッケージ」のひとつに、地域における外国人材の活躍と共生社会の実現を図ることが盛り込まれた。
- 本市においても、姉妹都市を中心に外国と交流し、多様な市民がつながり、自分らしく暮らせる共生のまちづくりを推進する。

(3) 基本目標 4－(3)－② P 23

新	旧
● 多発する災害に備えるため、消防団員の確保、自主防災活動への支援、わかりやすい避難勧告等の発令や伝達など、住民の円滑な避難行動につながる取組を推進する。	● 地域の防災力を高めるため、消防団員の確保、自主防災活動への支援を推進する。

【変更理由】

- 平成30年7月豪雨において、市民の避難が少なかったことから、自助、共助、公助が有機的につながる取組を推進する。

(4) 基本目標 4－(3)－② P 23

追加項目
● 障がい者がスポーツを通じて自らの可能性にチャレンジし、仲間との交流やコミュニケーションを深めることで、生活の質を高め、人生をより豊かにしていくための運動・スポーツ活動の機会の拡大を図る。

【追加理由】

- 平成30年度策定の廿日市市スポーツ推進計画に位置づけた障がい者のスポーツ活動の推進、スポーツ機会の拡大を図る。

数値が測定できなくなったK P Iについて

(5) 基礎・基本定着状況調査における実技調査の正答率 P 20

- 広島県実施の「『基礎・基本』定着状況調査」における実技調査が平成30年度以降中止され、調査の再開も不明である。
- グローバル化や国際教育の推進度合を毎年計測できる調査等がないため、K P I を削除する。
- 今後は、平成32年度に広島県教育委員会と有識者等で研究開発する予定の新たな学力調査を参考にK P I 等の設定を検討する。

K P I （重要業績評価指標）	現状値 H26	目標値 H31
「基礎・基本」定着状況調査における実技調査の正答率	87.7%	90.0%